

ず〜っと岩沼



P1…活動ピックアップ

P2…地域で元気に暮らすために

P3・P4…介護保険事業所が地域のつどいの場に

P5… みんなにやさしい地域の取組特集

P6… ボランティアさん紹介・地域お役立ち情報

P7…生活支援体制整備事業紹介

↑デイサービスセンターさとのもり
ボランティアさん活躍の様子
～買い物のお手伝い～

「ず〜っと岩沼」バックナンバーはこちらからご覧ください→

(岩沼市社会福祉協議会 HP 上で公開しています。二次元コードを読み取ってください)



「ず〜っと岩沼」は

生活支援体制整備事業の一環として、高齢者の生活を支える地域の取り組みをお伝えする情報誌です

誰もがいくつになっても住み慣れた地域で暮らし続けるため、地域における様々な活動が注目されています。

通いの場となるサロン等の活動や地域の見守り活動は、介護保険制度等の公的サービスとともに高齢者の生活を支える大切な活動となっています。

今号は、介護保険事業所が実施している地域に向けた取り組みを特集しています。



地域の皆さんのいきいき写真

↑矢野目きゅうりもぎの会



小川憩いの会↑

生活支援体制整備事業の周知活動

東日本航空専門学校(航空業界で働く航空機整備士、グランドスタッフを養成している学校)で、高齢者疑似体験、手話体験といった福祉体験の一部として生活支援体制整備の周知活動を実施しました。学生たちは、今後関わる可能性がある高齢者について、高齢者を支える地域の一員として熱心に話を聞いていました。



～生活支援体制整備事業の周知のために～
企業・病院・団体等に向けて出張講話いたします！
お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先:岩沼市社会福祉協議会
0223-29-3711

地域で元気に暮らすために

シルバー人材センターってどんなところ？

シルバー人材センターとは、高齢者が働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献する組織です。

今回は公益社団法人岩沼市シルバー人材センター業務第1・2係長 渡邊 光喜さんに、いきいき高齢者の活躍の場として、シルバー人材センター(以下「センター」という。)の今を伺いました。

Q、現在の会員について教えてください

会員数:令和7年2月末で521名です。

(男性 343名 女性 178名)

平均年齢は73歳。

自治体の60歳以上の人口における会員の割合は3.5%(全国平均:1.6%)となっております。

Q、会員の対象は？

岩沼市内に居住されている60歳以上で、健康で働く意欲のある方、センターの趣旨に賛同いただける方が会員となっております。センターでは、仕事の紹介だけではなく、ボランティア、サークル活動(骨盤体操・健康エアロビクス)なども行っております。

入会希望の方を対象に、毎月第二月曜日に入会説明会を開催しております。詳細については、当センターにお問い合わせください。(Tel 0223-24-6678)

Q、会員の方はどんな方が多いですか？

いきいきと仕事を行っているので、働いている会員の健康面は高い傾向にあります。

Q、仕事の内容は？

発注元は主に、岩沼市、個人宅、民間企業。特に企業は100社ほどあります。

主な仕事は、植木剪定、除草作業や襖障子張り、公共施設の受付事務、清掃、遺跡の発掘、工場内軽作業、食品会社の野菜の選別・食器洗い、ポスティング、スーパーの品出し、介護施設の送迎等と多岐にわたります。

インタビューを通し、センターの仕事は多種多様で、様々な場面で活躍しているのだということがわかりました。

経験豊かな高齢者が働き手として求められています。

いきいきとした生活を送るための選択肢の一つとして、仕事に取り組む高齢者が増え、今後ますます活躍していくことが期待できます。



会員さんの生の声をいただきました！

働くことは…「健康維持」「働いて収入を得ることができるし、リフレッシュにもなる」「出かける目的があることで気持ちがシャキッとする」「社会に参加することは大切」



↑市民会館で働く会員の方々

介護保険事業所が地域のつどいの場に

地域に開かれた施設が岩沼にはたくさんあります。中でも、事業所の場を利用してサロンを実施している事業所の一部をご紹介します。

えんじょいサロン



えんじょいサロンは、高齢者複合施設であるカーサ岩沼4階の交流室を会場に実施している、地域に向けたつどいの場です。

以前は偶数月に、岩沼市社会福祉協議会地域包括支援センターとともに実施していた認知症カフェ「カフェメロディ」を、奇数月に「えんじょいなす」という名称で2か月に1回サロンを開催していましたが、コロナ禍により、施設内は外部の方が入れなくなり、開催困難な状況が続いていました。

昨年度より「えんじょいサロン」と名称を変え、カーサ岩沼に設置されている地域連携委員会が中心となり再開しました。

今年度は2回実施し、徐々に地域に開かれた施設に戻りつつあります。

複合施設の中で行われているサロンなので、有料老人ホーム、グループホームの入居者、デイサービスの利用者、地域の高齢者が参加者の中に入り混じっているのが大きな特徴です。介護職員の方のサポートもあり、施設と地域の垣根がないつどいになっています。

施設職員の方の手作り遊具でレクリエーションを楽しむなど、盛りだくさんの内容に、参加者の方々は終始笑顔が絶えない様子でした。



地域連携委員ってどんな活動しているの？

～地域連携委員長 菊地悠太さんにインタビュー～

清掃活動、夏祭り、地域のサロンへの参加等、高齢者関連だけではない地域にかかわる様々な活動に取り組んできました。コロナ禍では、地域に開かれた施設として活動していくことが困難となり、閉ざされた状態が続いていましたが、ようやく、地域とのつながりづくりが少しずつ復活してきたところです。

何かがあった時にすぐに駆け付けられるような地域との関係性を、これから新しく築いていければと考えています。

地域交流サロン ひなたくらぶ



ひなたくらぶは、デイサービスひなたぼっこ二木の2階のスペースを利用して実施しているサロンです。

したいことがある 会いたい人がいる 行きたいところがある をモットーに「地域のつどいの場」として活動しています。

高齢者が外出するきっかけとなるように、特定非営利活動法人ホームひなたぼっこの前代表理事である布田幸子さんを代表に、平成15(2003)年から始めました。

健康セミナー・絵手紙教室・ステンシル教室・カラオケ教室・外出など、様々な活動を実施しており、参加者の方にとって月に2回のお楽しみになっています。

ここは市内でも数少ない、送迎を行っているサロンです。ボランティアさんの協力や、デイサービス所有の車両を活用して送迎を行っています。

代表 布田幸子さん

「長年ひなたぼっこでボランティアとして活躍していたのに、足腰を痛めて活動をあきらめていた方がいました。

その方は、知り合いが近隣におらず、ボランティアをすることで地域とつながった方でした。

送迎があればその方は外出し続けることができるのに、つながりを持ち続けられるのに…と、送迎付きの地域の居場所であるサロンを始めました。

ひなたくらぶは送迎があったからこそ継続できています。これからも隣近所で気軽に参加できる居場所としてあり続けたいと考えています。」



以前は、サロンの後に昼食会、一人暮らしの高齢男性を対象とした「おぼんですサロン」と称した夕食会、といった地域で孤立してしまいそうな方がつながりを持つための様々な取り組みを実施していました。コロナ禍以降、開催が困難になっていますが、参加者と築いたつながりは継続し続けています。

デイサービスで開催しているサロンに参加していたことで、介護が必要な状況になった時にスムーズに介護保険につながる事ができたという事例も。

「お花見や散歩、外出したいね」など参加者の声を聞きながら、地域に寄り添ったサロン活動を継続していく予定です。

😊 みんなにやさしい地域の取組特集 😊

岩沼市桜にあるデイサービス「やまぼうし」。ここでは地域に密着した様々な取り組みを実施しています。

代表の渡部明美さんに、二つの買い物支援の取り組みについて伺いました。



○お買い物支援(外出支援)

やまぼうしがある桜地区は、隣接する相の原地域にあったスーパーがなくなって以降、買い物が不便になったと地域の方から声があがっていました。

近隣に住む高齢者が買い物に困らないようにと、やまぼうしがデイサービスの送迎車を貸出し、地域のボランティアさんが運転、玉浦の食彩館まで買い物のために外出する支援を、コーディネートする形で実施しています。

渡部さん「町内会にも声をかけ、運転をしてくれるボランティアさんを募りました。やまぼうしは車を貸しているだけなので地域の方の力があってこそです。地域の方が困っているのであればいつでも活用してほしいです。」

○お買い物支援(移動販売)

毎週火・金の午後には大崎から来ている宍戸商店さんがやまぼうしの駐車場に来ています。

移動販売で周辺の地域を回っている情報を地域の方から、圏域の2層生活支援コーディネーターが情報を収集し、やまぼうしに情報提供し、つながりました。

現在はデイサービスの利用者さんが移動販売を楽しみにしており、利用者さんが主なお客さんになっています。

渡部さん「もともとは地域の方にも来てほしくて移動販売車を呼んだので、もっと地域の方に利用してもらって、買い物ついでに交流でにぎわう場になってほしいと考えています。」



地域の方へ、施設で所有するコグニバイク(認知症予防のための自転車リハビリ機器)をいつでも乗りに来て！と声をかける等オープンな活動をしてきたやまぼうし。今後、お買い物支援のような取り組みがますます発展していくことが期待されます。



サロン(憩いの場)活動を応援します！

サロンのお悩み相談の場を社会福祉協議会で実施しました。次はどんな内容にしよう？会員みんなで事務分担するにはどうしたらよい？等様々なお悩みを、気軽に話すことができる場として、今後も実施予定です。

デイサービスボランティアってどんな存在？

ボランティア活躍日記



総合福祉センターiプラザ内にある、デイサービスセンターさとのもりでは毎日ボランティアの方々が活躍しています。

今回は金曜日のボランティアである那須きよ子さん、磯田恵子さんにボランティア活動の様子取材しました。

～デイサービスボランティアの一日～

9:00 送迎時間 お茶の準備をして待ちます

9:20 利用者さんにお茶出しをします

10:00～11:30

利用者さんの様子を目配り気配り…しながら
入浴を終えた利用者さんの身だしなみを
整えるお手伝い

11:30 昼食時のお茶出しをします

12:00 利用者さんと談笑しながら昼食

12:30 下膳のお手伝い後、活動終了

お二人にとってのボランティアは、単に誰かのお手伝いをするだけではなく、自分たちの「生きがい(楽しみ)」になっています。そしてボランティア以外にも、大正琴や卓球バレーといった、それぞれの趣味も楽しんでいます。

人それぞれにある生きがい活動。様々な楽しみを見出し
ていけるとよいですね。



利用者さんにとっては家族のようなあたたかい存在のボランティアのお二人

「人生の先輩からたくさん学んでいます!」

地域でお役立ち☆

つながり広げる場所・もの コレクション

「モルック」

フィンランド発祥のスポーツで、モルック(木の棒)を投げて、12本のスキttl(木の棒)に当てて得点を競い合うスポーツです。

公園(芝生、砂利)や、砂浜等どこでもスペースがあれば、老若男女問わず気軽に楽しむことができます。

社協貸出遊具の一つなので、サロン等のレクリエーションにぜひご活用ください!



生活支援体制整備事業とは？

生活支援コーディネーターの配置と、協議体の開催を通して

①

②

高齢者が暮らしやすい地域をみんなで考えてつくっていくこと

① 生活支援コーディネーターとは = 支え合いの輪をつくるつなぎ役

「高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けるために」地域で生きがいや役割を持ち自分らしい生活を送ることができるようにお手伝いするのが生活支援コーディネーターです。

② 協議体とは = 支え合いの輪をつくる話し合いの場

地域住民、町内会、民生委員・児童委員、民間企業、行政、地域包括支援センター、社会福祉協議会など様々な役割の人が集まり、高齢者が生活を送る上で地域の気になる事や課題解決にむけた話し合いを行います。



← 第1層 協議体
支え合いの地域づくり会議

地域包括支援センター、市内のケアマネジャーの社会資源活用のためのツール(専門職向け)の作成に取り組んでいます！

第1層生活支援コーディネーター（社会福祉法人 岩沼市社会福祉協議会）

〒989-2427 岩沼市里の杜三丁目4番15号 TEL 0223-29-3711 / FAX 0223-29-3341

第2層生活支援コーディネーター(各小学校区ごとに設置された包括支援センターに配置)

岩沼西小学校区

岩沼西地域包括支援センター

業務委託 社会福祉法人 敬長福祉会
〒989-5459 岩沼市たけくま三丁目6番8号
TEL 0223-36-7266 / FAX 0223-23-3755

岩沼小学校区

岩沼市社会福祉協議会地域包括支援センター

業務委託 社会福祉法人 岩沼市社会福祉協議会
〒989-2432 岩沼市中央一丁目4番27号
TEL 0223-25-6834 / FAX 0223-25-4332

岩沼南小学校区

南東北地域包括支援センター

業務委託 社会医療法人 将道会
〒989-2427 岩沼市里の杜一丁目2番6号
TEL 0223-23-7543 / FAX 0223-23-5665

玉浦小学校区

マリンホーム地域包括支援センター

業務委託 社会福祉法人 ライフケア赤井江
〒989-2429 岩沼市恵み野一丁目7番地の1
TEL 0223-25-6656 / FAX 0223-22-1271